

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：11月ドイツ I f o 企業景況感

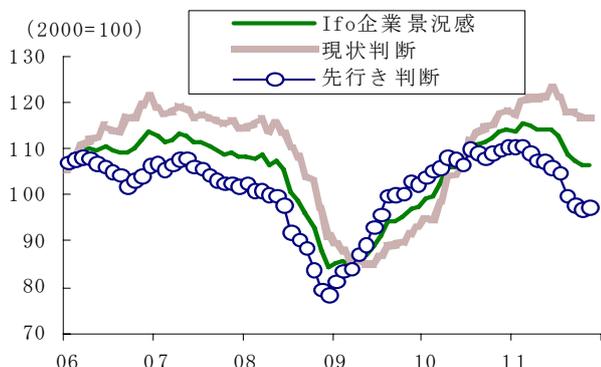
発表日：2011年11月25日(金)

～頼みの綱、どうにか持ち堪えているドイツ景気～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

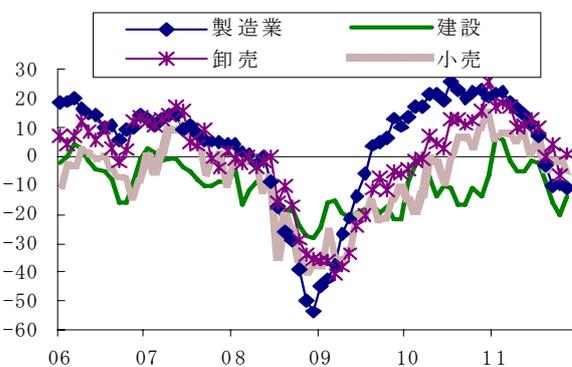
- 11月のドイツの I f o 企業景況感指数は、一段と悪化するとの方の予想を覆し、5ヶ月振りに改善。現状判断が前月から横ばいとなったうえ、先行き判断が小幅ながらも9ヶ月振りに改善した(左)。業種別には、製造業が現状・先行き判断ともに小幅悪化、小売業の先行き判断が大幅悪化した一方で、建設業が現状・先行き判断ともにやや改善、卸売業の先行き判断も前月の急減から持ち直した(右)。
- 先行き判断指数の水準は、前回2008年の景気後退期の初期局面と同程度でなんとか持ち堪えている。だが、財政危機の余波が中核国にも及ぶなか、イタリア、スペイン、フランスなどドイツを除く域内の大国は一段の財政緊縮措置を余儀なくされている。主要輸出相手国の景気減速の影響からドイツも無縁ではられない。ただ、雇用環境の底堅さやユーロ安による域外輸出の拡大がドイツの景気を下支えしている。域内の主要各国の景気が総崩れとなるなか、ドイツ景気が踏みとどまること出来るかが、ユーロ圏全体のリセッション入りを免れるか否かの重要な分岐点となろう。
- なお、同日発表された7-9月期のドイツの実質 GDP 成長率の改定値は前期比+0.5% (同年率+2.0%) と速報段階から不変。新たに公表された需要項目別の内訳は、雇用環境の改善を受けて個人消費が堅調に拡大したほか、企業の設備投資や輸出も増勢を持続した(表)。

■ドイツ I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ドイツ：I f o 業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ドイツ GDP (前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>)

	名目 GDP	実質 GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本 投資	在庫	輸出	輸入		
09/7-9月期	5.5	3.3	(4.1)	▲ 2.7	2.4	2.6	(4.8)	(▲ 0.8)	14.4	18.7
09/10-12月期	3.4	2.9	(▲ 2.3)	▲ 0.8	1.5	▲ 0.2	(▲ 2.0)	(5.3)	8.5	▲ 3.9
10/1-3月期	2.4	2.1	(5.0)	▲ 0.2	3.7	0.7	(4.3)	(▲ 2.9)	14.1	25.2
10/4-6月期	7.7	8.0	(5.3)	3.4	▲ 2.3	24.9	(▲ 0.3)	(2.8)	30.9	27.1
10/7-9月期	4.1	3.2	(0.8)	1.7	3.3	6.4	(▲ 1.9)	(2.4)	8.2	3.5
10/10-12月期	2.3	1.9	(2.2)	2.2	0.4	▲ 0.7	(1.0)	(▲ 0.3)	3.9	5.2
11/1-3月期	5.9	5.5	(4.0)	2.1	0.8	17.3	(▲ 0.3)	(1.5)	6.8	4.1
11/4-6月期	2.9	1.1	(0.6)	▲ 2.4	2.4	1.4	(1.3)	(0.5)	11.5	12.1
11/7-9月期	3.3	2.0	(1.6)	3.3	2.2	3.7	(▲ 1.3)	(0.5)	10.5	11.0

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。